

DOYU

あおり

2018 Oct

10

vol.211



02 全国総会参加報告

03 明の星短大キャリアサポート

04 各支部会員企業紹介

08 わが者の取り組み 09 例会たより

10 障がい者問題委員会コラム/青森同友会創立20周年記念

11 新会員紹介 12 会員さんのページ

明の星短大キャリアアサポート

青森同友会では連携協定を締結している青森明の星短期大学において、共同求人活動運営委員会の活動の一環として、7月19日に「キャリアアサポートⅡ」の講義内で出前講座を実施しました。

学生の声から（感想メモから構成しています）

〈三沢第一幼稚園〉

今回の話を聞いて、失敗して落ちこむ事があってもその間に子どもは成長しているという話を聞いて、とても勉強になりました。何が出来ないのではなく、今をより良く出来ることは何か



を考える事、大事にしていきたいと思っています。そして笑顔が伝染していくという事を聞いて私も笑顔を心がけるようにしていきたいと思っています。

〈（一社）日々木の森〉

就労継続支援A、B型、放課後等デイサービスなどを行っている日々木の森のお話を聞きました。ブルーベリーやニンニクを作っており、一番大切なのはコミュニケーションだと言っていました。失敗したこと、良かったことを一緒に振り返り上司と話し合い、次の日また頑張れるようにしています。利用者ともそのように接しているそうで



す。障害のかきねをとりはらい働いてもらい、一番は相手を信頼し、裏から利用者を支えることについて学びました。

〈鈴木建設工業（株）〉

仕事の姿勢についての話で、「学ばうと考えると過ぎず時間と、そうではない時間には雲泥の差がある」と聞き、確かにそうだなと自分でも感じました。私も様々な事から多くの事を積極的に学び取っていききたいです。またコミュニケーションをする際には雰囲気良くしていく事が大切だと聞き、私もコミュニケーションを取りやすい雰囲気をつくるように心がけていきたいと思っています。



〈NPO法人あーるど〉

責任を持って仕事に取り組むようにしているという言葉が印象的でした。キャリアアップの上で大切なことは、辛いこと、しんどいことがあっても自分を客観的に見てみる必要があることも教わりました。みんながみんな同じ考えではないから、この人とは合わないと考えるのでなく、客観的に見つめ直して、自分が大切にしているのではなく、働かされているのではない、自分たちが仕事を作っているという気持ち、自分が「こうしたい」と思う心が大切だと思いました。

Oct, 有限会社 オクト

青森県知事許可（般-24）第100121号
〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

◆事業内容◆

- 内装仕上工事（軽鉄・ボード・床・クロス）
- タイル・石工事
- ビル・住宅リフォーム工事

(有)ローズリー資源

代表取締役 たなか けいこ

田中 桂子氏

青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579
<http://www.rozure.com/>

「10年以上専業主婦として家庭を守ってきました。でも当時大嫌いだっただ父の跡を継ぐために青森に帰ってきたの。」
こう話すのは、青森市内で産業廃棄物のリサイクル業などを営む(有)ローズリー資源の代表取締役田中桂子社長。
創業の父は当時大手電機メーカーに勤めていて、業界でのゴミやリサイクル等で困っていることを知り、どうにかできないかと早期退職して一人で会社を立ち上げました。相談もなく勝手に退職し会社を起業したことなどから父が嫌いになり、自分はそのまま嫁ぎ、時は流れていきました。祖母の死をきっかけに介護福祉士の資格を取り、デイサービスで働いて人生を見直したのが、40歳のころだったそうです。三姉妹の長女である自分が父の会社を継がなければと考え始めたのもこの頃だそうです。そして青森に帰ってきましたが、まずは自分一人で働き子



経営指針を創る会10期生の田中社長は、指針作りの中で必要に迫られて、初めて父親とたくさん話したそうです。それまで大嫌いで話もしたくなかった父親との大切な時間であったと思います。そのころ父の書き溜めていた営業日誌を読んで、こんな想いで仕事をしていたのかと涙が止まらなかったそうです。もともと話を聞けばよかったと言っていました。指針を受けてから約5年後に事業承継した時には、肩ののしかかる重さに武者震いがしたそうです。しかし、社長になっ

供を育てました。この頃は介護や福祉の仕事にやりがいを感じていたそうです。
「初めて知った父の想い」
その後父の会社である(有)ローズリー資源に入社し、社員であったり、父であったり、取引先であったり、女性だということであったりと様々な壁に遭遇しました。しかし、田中社長は持ち前の根性とし、経営指針や理念に基づいた「ぶれない自分」をもって乗り越えてきました。

「自分の向かう会社づくり」
先代が亡くなってから本当の意味で自分の会社経営が始まりました。会社が地域にとってどんな役割を持っているのか、地域にどんな恩返しができるのか。田中社長が今想うのは、地域の未来のための環境づくりをしていきたいということ、障がい者や寡婦の方の仕事づくりをしていきたいということです。先代がずっと障がい者支援を続けてくれていたこともあり、今では大切な戦力になっていました。そしてこれからの夢の一つとして、障がい者や母子家庭、介護施設の方など困っている人のための施設をつくることがあります。そして、何と言っても「今が一番幸せ」だと笑顔で話してくれた田中社長は、まぎれもなく私たち女性経営者の目標です。

た後もまだ亡くなるまでは先代のサポートもあり、生きているうちに会社を継ぐことができたことを幸せだと言っていました。

屋根・外壁・リフォーム工事
板金工事の専門会社です。

有限会社 工藤板金工業

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼 22-17
TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833
<http://www.kudou-bankin.co.jp/>

漆畑ファーム株式会社

代表取締役社長 うるしはた よしふみ

漆畑 善文 氏

十和田市大字法量字漆畑165-1
TEL 0176-72-2515 FAX 0176-72-3128
http://urushihata-chikusan.com/

実家は漆畑畜産を営んでいます。23歳のときに、事業の規模が拡大してきた事をきっかけに帰郷し入社しました。自家製の餌で育てた十和田湖和牛や短角牛にこだわり出荷していました。2012年に畜産業と飼料製造業を分社し、粗飼料などを専門に販売する漆畑ファーム株式会社を社員6名と共に立ち上げました。

当初は、社員を一つにまとめることが困難で、自分の責任の重大さとプレッシャーでストレスと不安の日々でした。しかし経営指針を創ってからは、社員へ目的をしつかりと伝えることができるようになり、自信をもって話せるようになりました。

また、社員の不安にも親身に相談に乗ることで、仕事を自主的にするようになってきました。

仕事内容としては、今まで学んできた畜産ではなく牧草や稲ワラなどの粗飼料の生産・販売を業務とする物流を担う事になりましたが、どちらも自然の恵みに感謝して大事に育てて出荷するという点は変わりません。自社の強みは、新鮮な粗飼料を提供できることです。お客様のの中には「乳牛の乳の出が良くなった」と喜びの声もありました。全国草地畜産コンクールでは農林水産大臣賞を受賞しました。何よりも自分たちが生産した商品で喜んでくれるお客様の笑顔が一番うれしいのです。そして、お客様からお客様へと紹介が増えています。

もっとお客様に喜んでいただきたいと考え、2016年には「焼肉牛楽館三番街店」をオープンし、六次産業化認定事業者となりました。そして、安心しておいしい食を提供できるようにしました。メインの短角牛は、脂肪分が少なく、旨味成分のグルタミン酸やイ



ノシン酸がたっぷり含まれている良質でヘルシーな赤身肉です。イチオシのメニューはローストビーフです。短角牛をもっと知って欲しいと思い、「レトルトカレー」と「すじ煮込み」を商品化して販売しています。大きくてやわらかいヘルシーな肉が特徴です。

現在ある草地を少しずつ広げていき、目標として400haまで拡大していきたいと考えています。夢は、家族で楽しめる大きな観光牧場を作ることです。多くの人が集まる場所を提供し、笑顔を増やすことで、社員と共に地域の活性化へ貢献していきたいと考えています。



お試し入店 スマホアプリ
ぶらりんクラウド
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ

Web <http://www.sahcom.co.jp/>

〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中央一丁目5番10号

TEL 0178-21-1255

気になるお店や
行ったことのないお店を
「ぶらりんセット」で
簡単にお試し体験!

まずは
ホームページを
チェック!



(株)アイティワーク

代表取締役 ふれさわ あつし

觸澤 篤司 氏

八戸市江陽5丁目15-12
TEL 0178-38-9431 FAX 0178-38-3282

<http://www.itcowork.co.jp>

株式会社アイティワークは平成24年4月に八戸市で創業し、現在社員数は役員を含め14名で現在第7期を迎えました。業務内容は、Webシステムおよびスマホアプリ (Android, iOS) の開発で、課題解決の相談からIT目線での解決策のご提案などを行っています。創業前は地元のIT企業に19年勤務し、企業向け業務システムの開発に携わっていました。また最後の1年半ほどは未経験



者にIT技術を学ぶ機会を与え技術者として育成する取り組みとして緊急雇用対策事業にも携わらせて頂きました。

このIT人材育成がきっかけで、育成したエンジニア数名と共にアイティワークがスタートしました。実際に当時人材育成事業の中で習得技術の軸となっていた GeneXus (※開発ツール) という技術とスマホアプリ開発 (Android, iOS) の技術は、現在も開発部門の2本柱となり走り続けています。

地域に密着したサービスの提供として、産直専用ポスレジ「アグリレジ」や、ごみの収集日などを通知してくれる「ごみ収集アプリ」(八戸市、青森市、弘前市、むつ市、平川市) などを行っております。よく、地方は課題が多い、と言われるますが、逆の視点で考えた時に、地方は課題の先進地域であり伸びしろが最も多い地域ということですね。地元の優秀な人材を開拓しながら、地域に根差した人材の育成も行い、ITエンジニアが

魅力的でかついい職業であることも発信して参りたいと考えています。

人口減社会が加速する昨今、IoT、AI、プログラミング教育必修化など業界的には求められることが多様になってきますが、時代のニーズに合わせて新しい知識や技術を吸収し、地域社会にその恩恵を還元できるように努力して参ります。



地域の産直から未来の産直へ

産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21
東管工業株式会社

代表取締役 蛸沢 宮行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467

アップルアーキテクト(株)

代表取締役 きくち のぶあき

菊池 暢晃 氏

平川市小和森上平田1-1

TEL 0172-40-4420

<https://a-apple.co.jp/>



【起業のきっかけ】

以前、神奈川県横浜市の住宅メーカーに勤めていた際、会社がどんな目標に向かって進んでいるのかが解りませんでした。業績も悪く、リーダーだった私は立て直そうと考えました。会社には経営理念はなく、「何のために働いて」「どこに向かうのか、何も解っていませんでした。社長に直談判して、プロジェクトチームを作り、半年かけて経営理念を創りました。本当は逆なんですけどね(笑)。会社の方向性や未来、そもそも会社にとって、お客様にとって大事なものは何だ?と考えました。その時「会社のビジョンがあるのに、なんで家族にビジョンは無いのだからか?」「ビジョンによって人生は大きく変わる」と感じました。お客様と一緒に、家と将来のビジョンを創りたいという気持ちが強くなり、起業に至りました。本社は生まれ故郷の平川市ですが、神奈川県横浜市のオフィスがあります。現在は2週間毎に行き来しています。横

【アップルアーキテクトにしかできない仕事】

浜市のお客様がメインですが、平川市にもっと広めたいですね。地元が好きなので、昔から戻ると決めています。

仕事をつきつめていくと、お客様に喜んでもらうための「家族とは」「家とは」と考えるようになりました。本質的なことを考えていくと、表面的なデザインだけではいけないと考えようになりました。家は世代を超えて住み続けるものだと思っています。その時々流行を取り入れた家や、価格重視の家。そうしたことばかりではない、愛着を持ってもらえる家づくりがしたいと思ったのです。愛着をもつて建てた家で育った子供は、愛情いっぱい育てられるので性格も明るく、元気に育ちます。それには、お父さんやお母さん、子供のそれぞれが、何が好んで、どんな夢があつて、どんな将来があつて、20年30年そこにお爺さんと住んでいたら...と、いろんなストーリー、パターンが考えられます。お客様と面談する際、未来の完璧な予測をするのではなく、仮説でもいいから、少し先の未来を考えてもらいます。ですが、大人も子供にもなかなか考える機会が日常にありません。であれば、家創りの際には、ある程度制約のない未来を、思いっきり描いてもらいます。もちろん売上げも利益も大事ですが、その家族の人生がかかっていますから、お客様と本気で向き合い、本気で考えています。いただいた対価以上の価値を提供することが私の仕事です。

【世界一の会社を目指して】

わが社は「家族を幸せにする世界一の会社」を目指しています。今は家創りという形ですが、家を建てる事が目的ではありません。「幸せ」とは世界共通で家族の「想い」に通じるとしています。ご飯が



食べられる、家族と一緒にいる。世界には色々な「幸せ」があります。家族の幸せのお手伝いをするのがわが社の目的です。「設計会社」ではなく、「人財育成会社」です。日本一の設計会社ではなく、「家族を幸せにする」世界一の会社を目指しています。家創りを通して家族や仕事に関わる人、同時に会社や近隣住民がみんな成長できるという仕組みを、家族ビジョンを通してその輪を広げていきたいですね。お客様同様に、私も自分の家族を一番大事に考えています。家族を幸せにする為に立ち上げた会社です。代表の私が家族を幸せにできないなら、社員さんたちに嘘をついているのと同じですよ。来年からは、人員の補強や組織の強化をする為、経営に注力します。目標は3年後の全国展開です。どうやったらお客様の思いを表現できるか、家族の幸せに貢献できるかを常に考えています。

 株式会社 マルジンパチアップル

〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6

TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306

<http://www.jinpachi.co.jp/>



(株)木村タイル工業

代表取締役社長 きむら みのもる

木村 稔 氏

青森市青柳2丁目6-24

TEL 017-764-6301 FAX 017-764-6302

http://kimuratile.com/

〔経営指針を創る会修了後の取組み〕
〔魅力ある仕事を発信し、感動を創造できる企業へ〕
（株）木村タイル工業 代表取締役社長 木村 稔

（経営指針を創る会14期生）
木村タイル工業は昭和25年に当時レンガ職人だった木村一郎がタイル・レンガ工事の専門工事店として創業し、3代目として現在に至っています。

子どものころ実家がタイル屋という事には意識せず、当時はサラリーマンや公務員等スーツを着て仕事をやる職業に憧れていました。大学時代に小遣い稼ぎ感覚で実家のアルバイトをしたときに「楽しい」と感じ、職人も怖そうに感じていました。話をしてみると親しみをもちうになりました。このアルバイトがきっかけでタイル工事業の魅力に引き込まれ、



わが社の取り組み

大学卒業後にタイル専門校に進み半年間の勉強を経て当社に入社しました。入社時は父が社長で、私は言われた仕事だけをしていました。仕事も慣れてきて事業も順調にいったいと思っていた矢先に2つの大きな転機が訪れました。

1つは、父が病に倒れた事です。当時父が取引先との打合せや職人の手配など全部やっていたので父の指示をもらいながら代理で業務を行いましたが、自分の未熟さを感じることもあった。2つ目はいつも仕事を預けていた主要取引先の倒産です。下請け気質が強い会社だったので、主要取引先の倒産は当社にとって大打撃となりました。不良債権も抱え、先代が肩を落とす姿を見てこのまま終わってしまうのではないかと考えていました。この件がきっかけで自己啓発をするようになり、いままでの受け身の性格から、自分から挑戦する努力をするようになり、自作のチラシを作成し、それを持っていくって飛び込み営業を行い、人脈を作るためにいろいろな会合にも参加するようになりました。その成果もあり、仕事を受注できる体制をつくることになりました。そして平成26年7月に代表に就任しました。そこで大きな壁に直面しました。それが「人材育成」です。当時労働環境や社内環境はお世辞にもいい状況ではなく、新入社員が入社しても長続きしませんでした。そこで経営指針を創る会を受講する決意をしました。

〔経営指針を創る会修了後の取組み〕
現在は、経営指針を創る会で悩みに悩んで創り上げた経営指針書を活用し、社員と共に会社の目的（経営理念）に向かって行動しています。

一番力を入れている部分は人材育成です。年間の実行計画を活用し、若手職人には、まずタイル張りの面白さを、若手職人に伝え、タイル張り技術を継承出来る仕組みをつくり、ベテラン社員には資格取得や講習会を受講できる環境を作っています。



ます。人材育成をする為には、労働環境も改善していかなければいけないので、法人化や労働時間の変更等による労働条件の改善も行っています。そして社員に気持ちよく働いてもらいたいという想いと自分自身の覚悟もあり昨年事務所ビルを購入しました。社内でのコミュニケーションをとるために皆が楽しめるレクリエーションも定期的に開催しています。少しずつですが社内の雰囲気も良くなっているように感じます。

次に力を入れていることは、タイル業界の魅力発信です。アルバイト時代に感じたタイル張りの楽しさを多くの人に知って貰いたい事と自社の働くイメージをかつこよくしたいという想いから自ら青森市のタイル組合を立ち上げました。タイル組合では、タイル張り体験授業を定期的にを行い、実際に多くの人に体験していただき、楽しさと魅力を発信しています。そして自社のロゴやホームページ、作業服をリニューアルし「カッコ良く働く」というイメージ作りも行い社員や家族、取引先に好評を博しています。

経営指針書を活用して実践していくと、今まで以上に課題が多く見えてきます。指針を成文化する前は一人で悩んでいましたが、今は協力してくれる社員がいます。まだまだ課題は山積みですが少しずつ前進していきたいと思います。

水の問題、迅速解決!!

もう、水まわりの心配はさせません。

017-766-2421

●モニュメント
●デザイン
●ネオン
●サイン

ART-DESIGN
株式会社

アイサイン

Call 0172 62-5508 Fax 62-5516
Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL http://www.ai-sign.com MAIL aesign@infoamori.ne.jp

下北支部3月例会から

(株) 岩岡 代表取締役

岩岡 隆雄

「継いだたすきを渡す時」

創業80年、祖父から父、父から私、そして次の世代へ」

当社は包装資材を扱っていますが、同友会では職種も立地も規模も売上も違う経営者が集まって勉強しています。同友会で経営の「何を」学ぶかは一人ひとりの心持ち一つだと思います。

私は昭和31年の生まれで、昭和12年創業の当社の三代目です。元々は削井業を営んでいた祖父が、仕事の合間に新聞紙で作った袋を売り歩いたのが事業の始まりのようです。そこから徐々に石油製品（プラスチック容器包装材）の生産など事業を広げていきました。容器を持参して買い物に行く時代から包装したものを買って帰る時代へと変化したことも成長を後押ししました。オイルショックなどもありましたが、お客様・取引先

のことを第一に考えた商売で生き残ってきました。

私がこの業界に入ったのは、前年の石油ショックの影響が色濃く残る昭和49年のことです。時代は高度成長期の真只中にあり、セルフサービス方式のスーパーマーケットが台頭し、仕事はどんどん忙しくなっています。人手不足を感じながら、自分の配分で仕事を進められることに充実感を覚えていた私に、見かねた父が配達を担当するスタッフを採用してくれました。当時は「人材育成」という考えはなく、私を補助してくれ



るお手伝いさんが増えていったようなものです。ある時、それまで当社に勤めたことのある社員を記した200名余りの名簿を見て、沢山の人の犠牲の上に企業が成り立っていることを痛感させられました。その時の在籍社員数は約10分の1、23名だったのです。面接して採用しても次々と辞めていく...

そんな悶々とした日々の中で出会ったのが同友会でした。例会では経営について生き生きと議論するメンバーが居並び、それに触発された私は同友会に「ハマって」いきました。第4期「経営指針創る会」では同期に助けられながら成文化することができ、今では社内外に向けて社員とともに創り上げた経営指針書を発表する発表会を催すところまでできました。

今、受け継いだ事業を次の世代に渡す時期に差し掛かっています。今だからわかることが沢山あります。父は事業・経営について私に直接指導するのではなく、姿・姿勢で見せてくれたこと。なぜ父が買ってこさせた駄菓子社員みんなに食べ



ながら休憩していたか。社員との関わりが大切なのはもちろんですが、そこから同じ方向に向かっていく思いを紡いでいくことこそが大切だと思います。現在、5年計画で息子にたすきを渡す準備を進めています。彼を見ていると40年前の私と同じことをしているように感じます。今、我が社には経営指針書という心強い承継ツールがあります。再来期からは彼が先頭に立って次期の指針づくりが進んでいくと良いと思います。

ニッポンの窓をよくしたい

MADO ショップ

MADOショップ 八戸青葉店

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104

MADOショップは、納得できる
窓リフォームのお店です。

KID 有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1
TEL.0175-29-5611

釜淵山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

障がい者問題委員会コラム

共に生きる障がい者問題委員会

委員長 田中桂子

中小企業家同友会全国協議会（中同協）では2018年度の活動方針を以下のように定めています。

① 障がい者問題について関心を深め、障がい者雇用の取り組みの輪を広げる運動として発展させましょう。

② 誰もが共に育ちあい、その能力を発揮できる質の高い職場環境を目指す、人を生かす経営を総合実践しましょう。

③ 地域の行政や他団体とも連携して、就職困難者を企業に迎え入れる取り組みを行い、共生社会の実現を目指しましょう。

青森同友会の「共に生きる障がい者問題委員会では今期、「障がい者と共に生きることが当たり前の社会の実現に取り組む」ことを目標として活動をスタート

トしています。

「なんとなく必要だし、わかるけど大変そうだな？」と思っている方もいるのではないのでしょうか。法律も時々刻々と変わり、他人ごとではない現実が目前に迫っています。

具体的な活動としてはメンバーのスキルアップ講習会を企画し、「障がい者雇用をしてみたいけど：」「こんな場合は？」といった入口の部分の疑問を、委員会がよろず相談所として機能できるようにしていきます。また、行政との橋渡しができるようにもしていきたいと考えています。私たち共に生きる障がい者問題委員会、そして障がい者雇用自体がもっと皆さんの身近な存在になればと思います。委員会に興味がある方のご参加も大歓迎です！

今後『DOYU あおもり』紙上で、情報発信していきますので、ぜひご覧ください！

青森同友会創立20周年記念

1998年10月に産声をあげた青森同友会は今年、20周年を迎えます。これを記念して創立記念日の10月23日に記念行事を挙げます。皆さんお誘い合わせのうえご参加ください！

参加費…10,000円

（祝賀パーティ代含む）

記念講演…「日本はなぜ世界の国々から愛されるのか（今、私達が学ばべきこと）」

（二社）アジア支援機構

代表理事 池間 哲郎 氏

日時…2018年10月23日（火）

15:30～（15:00開場）

会場…ホテル青森

（青森市堤町1-1-23）

創立20周年記念講演会

青森県中小企業家同友会



参加費
¥10,000

青森県中小企業家同友会は1998年10月23日に全国44番目の同友会として産声を上げました。102社でスタートした会勢は2018年、200社にまで規模を拡大しています。20周年という節目を記念して、例年秋に開催している経営研究会を今年に記念講演会と記念式典、祝賀パーティの構成で開催いたします。講演会は公開講座として行いますので、広くお誘い合わせの上ご参加ください。

2018年 10月23日（火）

講演会/15:30～17:00 記念式典/17:00～18:00 パーティ/18:00～20:00

会場 ホテル青森 3階 孔雀の間 青森市堤町1-1-23 TEL01775-4342

■記念講演会 15:30～17:00

「日本はなぜ世界の国々から愛されるのか」
～今、私達が学ばべきこと～

一般社団法人 アジア支援機構 代表理事 池間 哲郎 氏

■創立20周年記念式典 17:00～18:00 ■創立20周年祝賀パーティ 18:00～20:00

青森県中小企業家同友会 創立20周年記念講演会・式典・パーティ参加申込用紙

（申し込み先）青森同友会事務局 TEL 01775-4342 FAX 01775-4343

主催：青森県中小企業家同友会

お問い合わせ：〒030-0050 東京都千代田区千代田2-2-27 TEL03-5561-0171 FAX03-5561-0172



鈴木建設工業株式会社

SUZUKI KENSETSU CO., LTD.

〒033-0062 三沢市新町三丁目 31 番地 2201

TEL 0176-53-3078 FAX 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp



ササキ石油販売株式会社

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026代 sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

welcome to DOYU!

新会員紹介



【青森支部】

ホテル青森

総支配人 蝦名 正治

「青森の迎賓館」を創業の精神に、いつも新しい感動をお届けします。

青森市堤町1-1-23

TEL 017-775-4141 FAX 017-773-5201

<http://www.hotelaomori.co.jp>



【青森支部】

(株)山道造花展

代表取締役 山道 雄也

お客様に寄り添った施行をし、地域から選ばれる葬儀社を目指して参ります。

青森市古川3-15-17

TEL 090-2977-6377 FAX 017-776-7785



【青森支部】

石戸社会保険労務士事務所

所長 石戸 大

「働き方改革」ご支援します。よろしくお願ひします。

青森市沖館5-12-47

TEL 017-763-5204 FAX 017-763-5214



【青森支部】

東和電材(株)

営業部課長 桄 勇輔

「熱意と誠意」をモットーにする電設資材の総合商社です。よろしくお願ひいたします。

青森市大野字前田72-1

TEL 017-739-9281 FAX 017-739-9149

<http://www.towa-denzai.com/>



【青森支部】

フットケアと靴のオアシス「ブライアン」
(株)アヴェルネット

代表取締役 高橋 重光

靴のこと足のこと何でもご相談ください。足に靴を合わせる靴店です。

青森市東造道3-3-6/ハイパールコート102

TEL 017-737-1190 FAX 017-737-1253

<http://www.brian-footcare.com/>



【八戸支部】

(株)島守ダクト

代表取締役 島守 英樹

食品・部品工場・商業施設、公共施設の換気空調排煙ダクト工事をしています。

八戸市沼館3-3-6

TEL 0178-43-1512 FAX 0178-44-1530



【八戸支部】

揚乃屋

代表 三浦 百合子

八戸市岩泉町にある居酒屋です。海の食材が新鮮で、手造りピザも好評を頂いております。テイクアウトもできますのでお気軽にお立ち寄りください。

八戸市岩泉町37

TEL 0178-22-5860



【八戸支部】

(株)トランスクリタ

取締役社長 栗田 岬知

全国の産地から選りすぐった旬の安全食材や食品をインターネットで販売しています。健康と食とは切っても切れない関係。良い食材で健康な毎日を過ごすためのバランス生活応援です。

八戸市下長4-10-24-1

TEL 0178-32-0420 FAX 0178-32-0421

<http://shop.syun-syoku.jp>

随時 会員募集中!

～会員さんのページ～

八戸支部 (有)香彩珈琲みな実

須藤清文社長



八幡馬



イサバのカッチャ

うみねこハッピー



オリジナルワッフル「みな実焼き」

「みな実焼き」とは、八戸に昔からあるものやキャラクターなどを型どって焼いたみな実のオリジナルワッフルです。

味もプレーンだけでなくあんこやチーズ、チョコなどさまざま。

イカずきんズ



10年前に経営指針書を創り、「食文化を通じて郷土を豊かにする新たな提案」で、「笑顔と心のふれあいを生み出す」という理念のもと、

●八戸らしい賑わいを創りたい!

●地元のものを商品にして子供からお年寄りまで喜んで欲しい!

●美味しいだけでなく目で見て分かりやすいものを! という想いから生まれました。

お客様にお出した時に思わずこぼれる笑顔。

イベントで行われるワッフル焼き体験も子どもたちに大人気です!

編集後記

今年度より広報委員長を仰せつかる事になりました大和です。前委員長の木村さんには広報委員の組織力を高めて頂き恵まれた環境でのスタートになりました。不慣れな点ではありますが精一杯努めますので宜しくお願いします。



有限会社 **ロズリー資源**

<http://www.rozure.com/>

廃棄物業・総合リサイクル業

本社 〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579

南部支店 〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-578
TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295